



トップに聞く!

ゆつくりでも、一歩一歩安全、
確実に前進する「かたつむり」。
人財育成によりブランド力を高め、
最高の顧客満足を提供していきたい。

株式会社マイマイ
代表取締役社長

三戸 道雄氏

取引店／福岡銀行 本店営業部



ようこそ マイマイ

笑顔をもらってうれし

あいさつをされて心が

あいさつで友達にな

車の運転がこんなに楽

短期間で卒業で

安全運転の気持ちと

あいさつはマジック

わたしたちは

お客さまの「よかったな

させていただけ



▲「マイマイ・マジックランド宣言」の前(左から谷頭取、三戸社長)

業界の先駆者として
「サービス業」の意識を醸成し
発展させた50余年

当社は、現本社所在地で炭鉱業を営んでいた三戸章が、エネルギー革命を機に事業を転換し、1961年(昭和36年)に西福岡自動車専門学校を創設したことが始まりです。80年(昭和55年)には株式会社西福岡自動車学校として法人化、私、三戸道雄が社長に就任しました。当時の自動車学校業界は旧態依然とした組織で、指導員は「威張る」「冷たい」「不親切」という態度が一般的でした。この体質に大きな疑問を感じた私は、当時としては先進的な「自動車学校はサービス業である」という方針を打ち出し、「自動車学校らしくない自動車学校」をスローガンに掲げ、86年(昭和61年)のマイマイスクールの愛称とかたつむりのロゴマーク、黄色のスクールカラーの導入や、



▲笹丘校



▲笹丘校(右写真)の屋上にある教習コース



▲トレーチャー室



▲応急救護室



▲GAT(グレート・アクショントレーニング)

89年(平成元年)の「指導員の完全予約指名制度」の開始等、様々な斬新な取り組みを行ってきた。

また、同じ86年には、学校用地の有効活用を目的に、ショッピングセンターと自動車学校を一体とする新校舎建設に向けたプロジェクトチームを立ち上げ、93年(平成5年)にマイマイスクール屋上コース、94年(平成6年)にマイマイビルが竣工しました。

その後、96年(平成8年)にスクールの名称に合わせ社名を株式会社マイマイに変更、2004年(平成16年)に旧福岡自動車学校を買収しマイマイスクール花畑校としてスタート。08年(平成20年)には、堀川観光バス株式会社の他2社を買収して経営の多角化を図りました。

また、01年(平成13年)から企業としてのレベルアップを企図してチャレンジしている日本経営品質賞で、10年(平成22年)に九州

株式会社 マイマイ

の企業として初めて「経営革新奨励賞」を受賞したことは、役員員の励みとなっています。

「自動車学校らしくない自動車学校」をテーマとして

当社が目指しているのは、「自動車学校らしくない自動車学校」です。

これまでの「暗い・威張る・冷たい・不親切」というイメージを払拭し、「明るい・親切・丁寧・優しい対応」の自動車学校に転換すべく、社員教育等を通じて、生徒さんはおお客様であるという意識の徹底に努めました。特に当時、画期的だった「完全予約指名制度の導入」の際には、生徒さんが自らの希望に合わせて指導員を選べるようにするという考えが、これまでの考え方を180度変えるものであったことから、社員の反発も相当なものでした。しかし、自動車学校はサービス業であるという



▲花畑校



▲かたつむりコレクション



▲地域清掃活動



▲トイレ研修

意識を醸成する為に、私の強い信念で実施を決めました。こうした取り組みの積み重ねによって他社との差別化を図ってきました。

「自動車学校らしくない自動車学校」というスローガンは、採用の方針にも反映させています。採用においては、男女、年齢、学歴等による区別は一切なく、挨拶が出来る人や、感謝の気持ちを持ち続けられる人を求めています。女性インストラクターによるソフトな教習を好むお客様も多くなります。いますので、当スクールには女性指導員も多く在籍しています。

当社は経営理念を、

①交通事故を起こさないドライバーを育成して、交通社会に送り出すことを使命とし、その使命を顧客満足の追求によって達成します。

②感謝の気持ちで物事に取り組み、人の成長と感動を喜びとし、働き甲斐、やり甲斐を追求し、実践を通して常に自己成長

を図ります。

③ 高い企業倫理を築き、その倫理観に基づいた公正な事業活動によって、地域社会から高い信頼を獲得します。

④ 適正な利潤をあげ永続する企業として地域や社会に貢献し、存在意義のある企業を目指します。としています。

これらの理念は、社名にも反映しており、「マイマイ」とは「かたむり」の学術名で、かたむりは歩みは遅くとも前進あるのみで後退することがないことから命名しました。お客様が、ゆっくりでも一歩一歩安全で着実に前に進む「事故を起こさないドライバー」になって頂きたいという願いと、私達自身も、ゆっくりでも常に前進し続ける企業でありたいとの想いを、この社名とロゴマークに込めています。また、学校名を「my my school」と表記しています。これは、お客様には「私の学校」、社員には「私の会社」として誇り



▲左から三戸常務、三戸社長、谷頭取、荒木本店営業部長

を持ってもらいたいという想いを表現したものです。

「社員の質の向上と」

「マイマイ・マジックフンドの実現」

少子化の影響等から、自動車学校を取り巻く環境は大変厳しくなっています。この厳しい環境

の中でも、お客様に選ばれ続ける学校として、サービス品質の向上と、在校生、卒業生との関係性の維持を通じた「口コミ」による顧客獲得」という新たなビジネスモデルの確立に取り組んでいます。

まず、サービス品質の向上に向けては、お客様に当社を選んで頂く為の「社員の質の向上」に最大限注力しています。今までの自動車学校の「目に見えないサービス」を、社員が「見える・感じる・伝わるサービス」に変換し、お客様へ提供することを目指しています。

その為に取り組んでいるのが指導員の「スキルの向上」と「人間性の向上」です。「スキルの向上」への具体的な取り組みとしては、まず「あいさつ研修」があります。あいさつはお客様と、また指導員同士でしっかりとコミュニケーションを取り、信頼関係を築く為の第一歩だと考えています。更に、緊張感を高め、最高のコンディションをつくる為の「朝礼」や、専

任トレーナーの個別指導で技術力を高める実践型のスタッフ研修「GAT(グレートアクション・トレーニング)」等があります。

「人間性の向上」への取り組みとしては、私達が普段道路を使って仕事をしていることから「地域清掃活動」を行っています。地域の方々に感謝の意を表すとともに、誰もが安全に気持ちよく道路を使えるようにとの想いを込めています。他にも、自ら考え学習し行動する企業風土づくりの為の「委員会活動」や、感謝の心、謙虚な心を育む為にトイレ掃除を行う「トイレ研修」等があります。

もちろん、安全運転ドライバー育成に向けての取り組みにも力を入れています。インストラクターが教習技術のクオリティアップを図り、効果的な教習方法や説明手順等についてお互いの意見を出し合っって主体的に行う勉強会や、小学生から高齢者までを対象とした交通安全教室等を開催。

株式会社 マイマイ

また、当社は在校生、卒業生との緊密性を高める為に、「マイマイ・マジックランドの実現」を目指し、「マイマイ・マジックランド宣言」を掲げています。

「マイマイ・マジックランド宣言」
 ようこそ マイマイ・ランドへ！
 笑顔をもらってうれしくなった
 あいさつをされて心がなごんだ
 あいさつで友達になった
 車の運転がこんなに楽しいとは
 短期間で卒業できた
 安全運転の気持ちとマナーが
 身についた
 あいさつはマジックだ
 心も行動も変えてしまう
 わたしたちはあいさつを通して
 お客様の「よかったな」の想い
 をつくるお手伝いをさせていた
 だくことを宣言します。

この宣言は、お客様が入校してから卒業するまで、更に言えば卒業してからも毎日を楽しくわくわく過ごして頂きたいという想いを込めたもので、社員が朝礼で唱和するとともに、笹丘校の入口にも大きく掲げています。

毎年10月下旬には、近隣大学等からもご協力頂き、地域の方々への感謝の気持ちを持って開催する当社最大のイベント「マイマイフェスタ」を実施し、毎年約5,000名の方が来訪されます。この他、バッテリー上がりの処置や、タイヤ交換といった、いざという時に必要となる技術の体験が無料で受講出来る「体験学習会」等を開催しています。

これらのイベントは、スタッフと在校生、そして卒業生と一緒に企画・運営するもので、当社が推し進める口コミによる顧客獲得という戦略に繋がるものと考えています。

ブランド力を創出する

「人」の育成に励みながら

未来へステップアップ

これまで、「自動車学校らしくない自動車学校」を目指して、様々な革新の連続でした。そして、その延長線上にこそ当社の未

来はあるのだと思っています。その未来を切り拓くには、企業としての利益を一番に考えるのではなく、お客様目線で物事を考え続けることが大切でしょう。また、革新し続ける企業である為には、社員一人ひとりが考える力を身に付け、リーダーシップを発揮していくことが必要であり、やはり人材育成が重要だと考えています。

これからもお客様に選んで頂ける企業である為に、役員一同力を合わせることによって「自動車学校らしくない自動車学校」であり続けたいと思っております。



▲三戸社長



▲社長がたてられたお茶

◎インタビューを終えて

自動車学校を創設されて50余年。三戸社長様をはじめとする御社役職員の皆様は、お客様目線に立った様々な取り組みや弛まぬご努力を重ねられ、自動車学校業界において先進的とされる数々の変革を成し遂げてこられました。教習所の見学では、指導員や生徒の方々の楽しそうな表情を拝見させて頂き、御社の今日のお姿や評判は「自動車学校らしくない自動車学校(明るい、親切、丁寧、易しい対応)」というスローガンをはじめとした、三戸社長様の想いの上に築き上げられたものだ、改めて感じる事が出来ました。

これからも交通事故を起こさないドライバーを世に送り出すという大役を担っておられる御社が、安全な交通社会構築の為に、一步一步着実な歩みが続けられることを期待致しております。



福岡銀行
取締役頭取 谷 正明



トップに聞く！

宮大工に始まる信用と職人気質を
受け継ぎ、高品質の和風建築を
「まごころの二品製作」の理念で提供。

新規建設株式会社
代表取締役社長

規工川 祐紀氏

取引店／熊本ファミリー銀行子飼橋支店

「新しい規工川」を目指して、

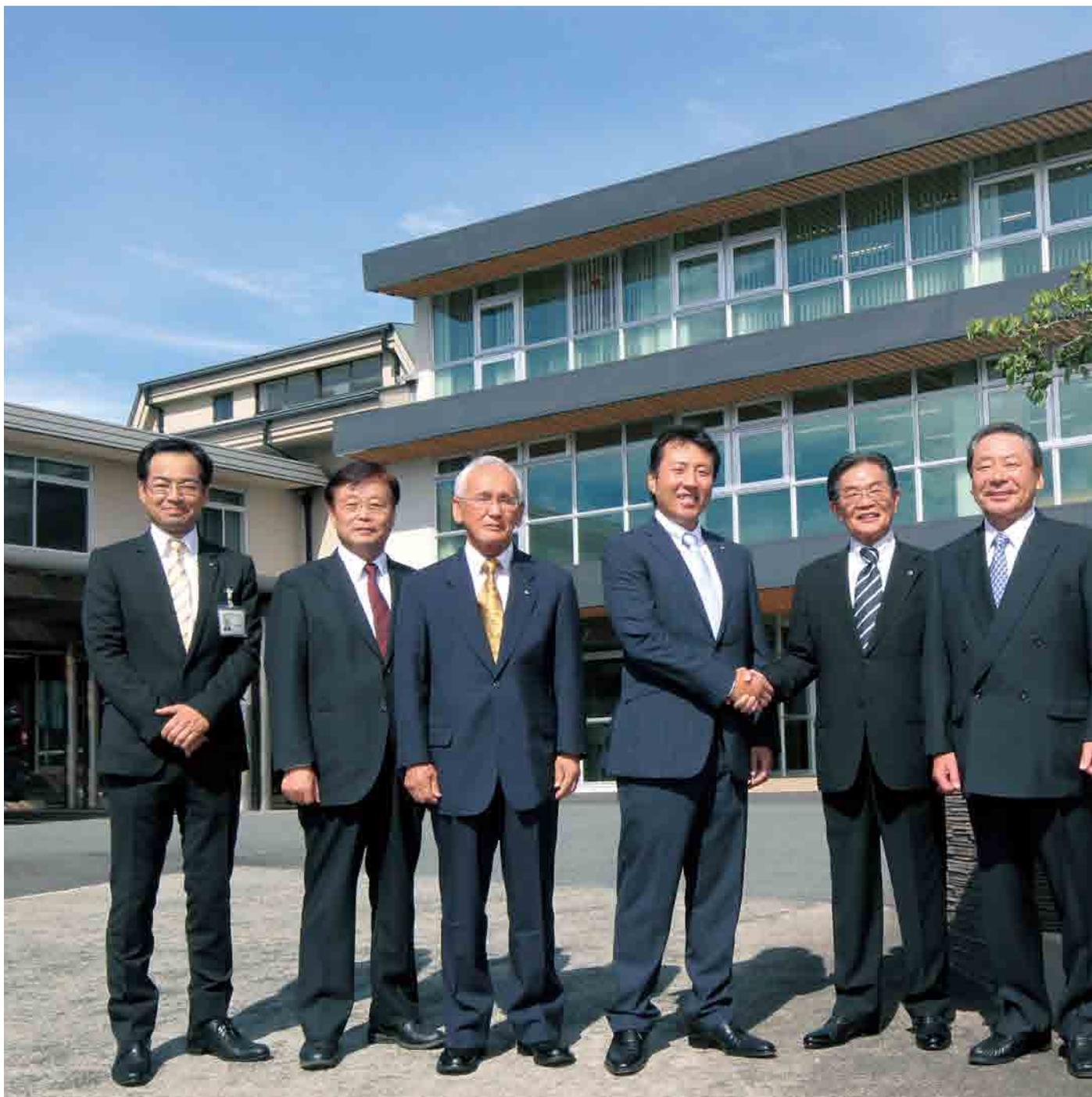
独立後、熊本県・福岡県の

8カ所の展示場に

モデルハウスをオープン

当社は、熊本県玉名市で建築工事業を営む有限会社規工川きくがわ工業の木造建築部門が1973年（昭和48年）8月に分離・独立したことが始まりです。同年9月には、より大きな市場を求めて玉名市から熊本市へ進出。そして翌年に新規建設株式会社を設立し、新たな歴史の第一歩を踏み出しました。





▲本社看板の前で(左から渡辺支店長、伊藤常務、岩橋専務、規工川社長、林頭取、規工川会長)

新規建設の社名は、規工川工業から独立する際に、「新しい規工川工業」を目指すという志に由来したものです。その後、多くの住まいづくりに携わりますが、75年(昭和50年)には特定建設業としても許可を受け、公共工事等にも事業の幅を広げていくことになりました。

当社設立以降しばらくの間は、熊本県内のみならず展示場を有して事業を展開していましたが、2008年(平成20年)10月、福岡・佐賀方面への進出を目指し「ヒット久留米住宅展示場」にモデルハウスをオープンしました。そして、09年(平成21年)4月に資本金を1億円に増資し、11年(平成23年)には、「ヒット香椎浜住宅展示場」に福岡県で2番目となるモデルハウスをオープンし、熊本県・福岡県の住宅展示場は合計8カ所となりました。

今年1月、本社を増築して事業活動の基盤固めを行った後、4月には、規工川隆行が代表取締役



▲玄関アプローチ



▲木を多く使用した玄関



▲ヒット香椎浜住宅展示場

役員長に、私、規工川祐紀ゆきが代表取締役社長に就任し、新体制でスタート致しました。

当社の魅力は、規工川工業の創業から今日に至るまで建築を産業としてきた「正統派の建築業者」であることです。宮大工に始まる初代清之助、2代目又兵衛、3代目又平、4代目源八と匠の技を活かした聖職に就いてきました。明治元年生まれの5代目真蔵、6代目正男、7代目の隆行会長、そして8代目の私に至るまで、初代から大切にしてきた「信用」と宮大工時代の「職人気質」は連続と受け継がれています。

家は、商品でなく作品

一軒一軒、まごころの

「一品製作」が変わらぬ理念

当社では、「いい仕事、いい建物、いい作品をつくる」ということを社員全員が目標として共有しており、これは当社の理念である

「一品製作」にも繋がっています。

私たちの祖父の時代まで、家を建てるということは職人の命を賭けた仕事でした。家一軒一軒の出来栄えがそのまま「腕」の評価であり、プライドの源泉でもありました。しかし、近頃では近代化の名のもとに、家もまた大量生産・大量販売を目指す商品になりつつあり、家に対する職人的愛情と住む人への心づかいを欠いた建物が多くなってきたように思われます。当社では、このような住まいづくりの傾向の中にあつて、一軒一軒、まごころの「一品製作」に精根を傾注し、本物の家をつくる為に一生懸命な会社であることを自負しています。後世に残る作品としての「一品製作」を行うこと。これが当社の命です。

また、当然のことでもあります。が、「約束厳守」「工期厳守」及び「品質第一」「安全第一」も理念の一つと言えるでしょう。これらを踏まえたくうえで、「繁栄の永続は



▲建築中の様子



▲軒の深い玄関



▲数寄屋風の和室



▲竣工時の会長・社長による社内検査



▲和洋折衷型のリビング

初心にあり」を自らに言い聞かせながら、当社の特徴でもある「他社が追従できない住まいづくり（和風建築）」を遂行しています。その為に当社では優秀な建築技術者であるとともに現場を取り仕切る棟梁とうりょう40人ほどと提携して住まいづくりを行っています。もちろん人材育成にも注力しています。高卒者を中心に、専門学校・大学の卒業者も大工職として毎年採用し、当社と提携している棟梁のもとで10年間の見習い経験を積ませ、将来的には棟梁として独立させます。その新たな棟梁がまた、職人としての技術を發揮して当社の住まいづくりに協力してくれるのです。

**大手では難しい
和風建築分野に注力し、
リフォーム分野もカバー**

当社は、お客様のお望みに合わせて様々な家をご提供しています

が、その40%前後が木造を主体とした和風建築です。和風建築は経験が重要な分野であり、大手の住宅会社では細部まで対応することが難しい分野でもあります。中でも、日本的な「侘わび」「寂さび」が生きる数寄屋すきや（茶室）風の住まいづくりは当社の得意とするところです。近年では土地を有効に活用する為、あるいは台所やリビング等における洋風家屋の使い勝手の良さを取り入れようと、「和洋折衷型」の近代和風の家を建築することも増えてきました。

もちろん土地の分譲から、ご要望を取り入れたオリジナルの注文住宅建築まで、お客様の住宅建築に関する全ての分野に対応出来ることも当社の強みです。また、建築した物件は、会長と社長の私で全棟、関係業者の責任者を集め、検査を実施します。この為、建築を担当する棟梁や大工は常に緊張感を持って仕事に携わっており、一切の妥協を許さない上品な



▲展示場見学風景



▲コーディネーターによるパース作成



▲本社外観



▲当社施工例(熊本市西区役所)



住まいづくりの基盤となつていま
す。実績としては年間約120
棟を手掛け、今日までに総数で約
3,000棟を完工しました。ま
た最近では、急増するリフォーム
需要にも対応しています。

建築に際しては、出来る限り国
産材・地域材を使用し、設計にお
いても地域の独自性や気候風土
に適した住まいづくりを心掛けて
います。例えば当社が建築した住
宅では家の軒が深くなつていろ
こが多いのも、日照時間が長いと
いう九州の地域性を考慮したも
のです。風の影響を受けやすいと
いう弱点もありますが、当社独自
の工夫で風への耐性を強化したつ
くりとしています。

和風建築は、一般的に建築費が
高くなりがちです。当社も、「新
規建設さんの家は高い」とお客様
から言われることも少なくありま
せん。しかし、それは目に見えない
箇所にも気を配り、住まいづくり
に妥協を許さないからに他なりま

せん。釘が見えない工法、留めの
部分にスペースが生じない工法等
は、その代表的なものです。また
当社の建てた家は、数十年経つて
も美しさを保っていることに、和
風建築のプロフェッショナルとして
の誇りを持っています。ご注文頂
くお客様の間に、当社で建てた家
を一つのステイタスと考えてくだ
さる方がいらっしゃるのも嬉しい
限りです。以前、当社が建てた家
で育ったお子さんが、成人し独立
して自分の家を建てる際に、当社
をまた指名して頂く…そんなこ
ともありました。

**福岡県・佐賀県での受注拡大、
特建事業部の安定化、
環境を意識した
住まいづくり等の課題に挑む**

当社は熊本県の他、福岡県の
展示場でもモデルハウスを公開し
ていますが、久留米、香椎浜の住
宅展示場での受注拡大に力を注

新規建設 株式会社



▲規工川社長

未来展望としては、福岡県・佐賀県での受注拡大を図るつもりです。



▲規工川会長

福岡県や佐賀県の市場を大きく取り込みたいと意気込んでいます。また、当社は住宅と異なる公共建築物・工事も手掛けており、最近では有り難いことに水道局や熊本市の西区役所等の物件も受注させて頂いております。今後も実績を積み重ねながら、ビル等の公共工事にターゲットを絞った大型物件建築事業部の安定化を努力目標に掲げていきます。

この他、近年の環境意識の高まりを受けて、「住宅のゼロエネルギー化」の推進・提案にも注力しています。当社では、外断熱工法等を活用して夏は爽やかで、冬は暖かい環境をつくる「ソーラーサーキット」を採用した近代和風の住まいも手掛けていますが、今後は太陽光発電等を採用した省エネルギー・CO₂排出削減住宅等にも目を向け、常に先進した情報を仕入れながら、環境に配慮した家への展開を図るつもりです。



▲当社住宅展示場の前にて

◎インタビューを終えて



熊本ファミリー銀行
取締役頭取 林 謙治

創業時より受け継がれている「正統派の和風建築」に重きを置いた「こだわりの家」をつくり続けられる一方、時代の流れとともに多様に変化するお客様のニーズには柔軟・的確に対応される姿勢を拝見し、改めて御社の家づくりに対する情熱に大きな感銘を受けました。その情熱は、建築される家を商品ではなく大切な作品だという想いを、自社の「命」として代々受け継いでおられるからこそ持ち続けられるのだと拝察致します。

今後も、熊本県はもとより福岡県・佐賀県へと進出していかれる中で、和風建築のノウハウが詰まった住まいが多くのお客様に喜ばれ、末永く御社がご発展されることを祈念致します。



トップに聞く!

各分野の専門性を生かしながら
 患者様の一日も早い社会復帰に貢献し
 地域に不可欠な集団であり続けたい。

社会医療法人財団 白十字会
 理事長

富永 雅也氏

取引店 / 親和銀行 本店営業部
 福岡銀行 佐世保支店

佐世保市の一診療所から、
 佐世保・福岡をまたぐ

一大医療・介護グループへ発展

1929年(昭和4年)、祖父の初代理事長・富永猪佐雄が、長崎県佐世保市において「富永内科医院(現在の佐世保中央病院)」を開設したことが、当会の歴史の始まりです。その後、第二次世界大戦の開戦、院長応召(軍隊の召集を受けて軍医として従軍)、佐世保大空襲による診療所焼失・再建等、苦難の道が続きましたが、



社会医療法人財団 白十字会

51年（昭和26年）、初代理事長が私財を投げ打ち、全国でも珍しい「医療法人財団」化を果たし、「医療法人財団 白十字会」が誕生しました。

68年（昭和43年）、父の富永雄幸が2代目理事長に就任し、74年（昭和49年）、「弓張病院（2000年に閉院し、同年耀光リハビリテーション病院を開設）」を開設。そして、82年（昭和57年）には、福岡市西区に「白十字病院」を開設しました。白十字病院の開設は、当時「九州における東京からの医療情報・技術の受け入れ口」であった福岡へ進出し、最先端の医療情報・技術をいち早く入手して、九州西端の佐世保市の人々にご提供する医療の拡充を図ることが目的で、当会にとって大きな転換点の一つとなりました。

その後、89年（昭和64年）の長崎県で最初の介護老人保健施設となる「長寿苑」の開設や、95年（平成7年）の佐世保市大和町へ



▲左から富永理事長、小幡頭取

の「佐世保中央病院」の新築移転、96年(平成8年)の介護老人保健施設「サン(燦)」の開設等を行いました。そして、99年(平成11年)、私、富永雅也が3代目理事長に就任し、00年(平成12年)の「燿光リハビリテーション病院」の開設等、施設の拡充に取り組んで参りました。

02年(平成14年)には、佐世保中央病院が臨床研修指定病院に認定され、大学病院等から研修医の受け入れが可能になりました。その後、当会のそれまでの地域医療に対する貢献が認められる形で、08年(平成20年)に佐世保中央病院が佐世保地域では初となる地域医療支援病院の認可を得ることが出来た他、11年(平成23年)には社会医療法人財団の認可を取得、更に12年(平成24年)、白十字病院も地域医療支援病院の認可を受けることが出来ました。

09年(平成21年)、当会は創業80周年を迎えましたが、これも

代々の理事長の活躍や全職員の努力とともに、白十字会グループが、医療・介護サービスをご利用頂いている佐世保市民・福岡市民を中心とする皆様に信頼され、選択される施設であればこそと、自負しております。

多様な施設と独自のシステムで 「患者様の一日も早い 社会復帰」に貢献

私たち白十字会は、「患者様が一日も早く社会に復帰されることを願います」という基本理念の下で、急性期から回復期、介護、福祉、在宅に至るまで、地域の医療・介護を幅広く支える集団として日々努力を続けています。

現在、関連法人である社会福祉法人佐世保白寿会を含めると、3カ所の病院を中心に、介護老人保健施設、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、訪問看護ステーション、訪問介護ステーション、通所介護事業所、介護付有料老人ホーム、そして小規模多機能施設という多様な施設で医療・介護・福祉サービスをご提供しています。

主な施設を紹介すると、地域医療支援病院に指定された「佐世保中央病院」及び「白十字病院」は、地域医療を支える基幹病院として、独自のネットワークシステムを用いて地域の診療所の先生方と緊密な連携を取り、患者様に頼りにされる拠点病院を目指しています。一方、「燿光リハビリテーション病院」は、病院での寝かせきり医療からの脱却を目指し、長崎県北で唯一の回復期リハビリテーション病棟を有する医療機関として高い在宅復帰率と機能改善率の維持向上に努めつつ、同時に神経難病や重度介護の患者様への慢性期医療の充実も目標に

取り組んでいます。



▲佐世保中央病院



▲2代目 富永雄幸理事長の胸像



▲初代 富永猪佐雄理事長の胸像

しています。また、3病院とも、第三者による病院機能評価機関である公益財団法人日本医療機能評価機構の認定を受けていることも特色です。

「長寿苑」、「サン(燦)」等の介護老人保健施設は、中間施設としての機能を全うする為、ご利用者の在宅復帰に向けて全職員が多職種協働で支えようと心を一つにしています。更に、通所介護事業所「ドリームケア」は、在宅における高齢者の体と脳の活性化や介護予防プログラムを計画的に実施しており、廃用性萎縮の防止と機能回復を目指しています。

また、他に先駆けて78年(昭和53年)頃から独自開発を進めてきた電算化も当会の大きな特徴となっています。02年(平成14年)より、大手ベンダーの電子カルテを運用していましたが、医師や看護師をはじめとする職員の要望を反映させた独自の電子カルテシステム「HOMES

(Hakujyujikai Organizing Health and Medical Information Enterprising System)」を06年(平成18年)より稼働させ、医療情報の共有や医療安全の確保等に大いに役立っております。

「専門性を生かす」為、 各種制度の導入や人材育成に注力

私は良質な医療・介護サービスをご提供する上で何より重要となるのは「人」だと考えています。当会では医師や看護師をはじめ、多様な専門スタッフが働いていますが、それらスタッフの「専門性を生かす」ことを経営理念に掲げ、様々な制度の導入や人材の育成に注力しています。

まず、「専門性を生かす」、つまり「医師は医師にしかできない仕事を、看護師は看護師にしかできない仕事を」行うことを目標に、各々が自分の仕事に専念出来る

環境づくりを進めています。診療サマリーや各種診断書の仮作成等、医師の事務作業全般にかかる補助業務を任せる「医療秘書」や、検査や手術に関する説明の一部を医師に代わって行う「説明支援ナース」といった多忙な医師の負担を軽減する制度を設けたのも、こうした理由からです。

次に、00年(平成12年)より取り組みを始めた総合人事制度(面接)による適正な評価は、人材育成上の大きな柱となっています。この制度は、目標面接制度による能力考課と職務遂行考課・意欲態度考課からなるもので、すでに法人内に評価基準や評価手法は定着、職員からも「有意義である」との一定の評価を得ています。当然、人材育成の為の職員の教育・研修も徹底しています。初年



▲権光リハビリテーション病院



▲白十字病院

度・2年次・3年次と年次ごとに、また階層別でも研修を行っている他、各学会への参加や研究発表、そして職務に必要な公的資格や免許の取得も奨励しています。

また、エキスパートナース育成に向けた、法人内認定看護師制度は当会独自の制度です。特定の看護分野において熟練した看護技術と専門知識を有し、高水準の看護が実践出来る看護師を認定することにより、質の高い看護の提供と安全な医療の実現に貢献しています。分野としては「感染管理」「皮膚ケア」「NST(栄養管理)」「緩和支援」「リウマチ膠原病療養指導」「説明支援」「ケア技術指導」があり、07年(平成19年)より法人内認定看護師養成セミナーを開講、08年(平成20年)に第一号として2分野で12名の法人内認定看護師が誕生し、現在125名の法人内認定看護師が各分野で活動しています。

加えて、職員の専門知識の向上

や高度先進技術習得、グローバルな感性の醸成等を目的として、01年(平成13年)から海外研修制度も実施しています。昨年は、「アメリカ看護管理研修」のテーマのもと、米国オレゴン州のポートランドで看護師3名が研修を受けました。

地域医療連携に注力し、さらに地域から必要とされる施設へ

近年、少子高齢社会を迎え、急激に医療制度改革が進む中、永続的な社会保障制度の実現の為、今後は施設から在宅へ向けた「地域包括ケア」の構築や、地域内の医療機関同士、医療機関と介護施設との連携がこれまで以上に求められることとなります。

そうした中で、当会が注力していることに、まず地域医療連携が挙げられます。佐世保中央病院では「メディカルネット99」、白十字病院では「クロスネット」といった



▲左から湯口財務本部長、富永理事長、小幡頭取、宗本店営業部長

社会医療法人財団 白十字会

地域医療連携ネットワークシステムを構築しています。これは患者様の情報を、地域の診療所及びかかりつけ医がインターネットを介して参照出来るシステムで、両病院と連携を結んでいる診療所等と患者様の医療情報を共有します。例えば、地域の診療所を通じて両病院のいづれかへ移ってきた患者様はご自分に対する医療情報の継続性を実感でき、診療所はもちろん、両病院の医師への信頼が深まる上に、重複検査、重複投薬を防げる等のメリットがあります。ちなみに佐世保中央病院では近辺地域の147の診療所等と連携しており、うち52機関がメデイカルネット99を利用中。患者様の登録数は、約12,000名にのぼっています。



▲富永理事長

その他、法人内の病院、介護施設間の連携や、多職種の協働も注力点に挙げられます。現代医療は、各分野のスペシャリストが担当するチーム医療が主流です。医師・

看護師はもとより薬剤師や臨床検査技師、あるいはリハビリスタッフ（理学療法士や作業療法士）、管理栄養士、医療秘書等、それぞれが専門性を発揮して、医療・介護の質を高めていくことが目標です。

更に近年、救急車による救急患者の受け入れを断る病院の増加が社会問題化していますが、白十字会は出来る限り救急患者を積極的に受け入れ、一人でも多くの人命の救助にあたりたいと思っております。その為にも、医療の基盤となる医師の確保に今以上に傾注し、地域にとってなくてはならない組織づくりに励んでいく所存です。



▲地域医療連携の説明風景



▲連携医療機関の案内

◎インタビューを終えて

「患者様の一日も早い社会復帰」を基本理念に掲げ、医療だけでなく、介護・福祉に至るまで、幅広い分野において、佐世保・福岡地区の人々の健康保持増進に貢献されてこられました。なかでも、地域医療連携への注力をはじめ、常に地域医療の充実に努めてこられた取り組みは、地域の皆様の信頼となって貴会の発展へと繋がっているのだと確信致しました。

今後も、地域住民の皆様の期待に応える為に、「地域医療連携」及び「地域包括ケア」を更に充実され、地域にとってなくてはならない医療・介護グループとして発展されることを祈念致します。



親和銀行
取締役頭取 小幡 修

4, 9 株式会社 マイマイ

マイマイ

- 創 業：1961年
- 設 立：1980年
- 所 在 地：福岡市中央区
- 資 本 金：1,000万円
- 従 業 員：183名
- 事業内容：自動車教習所、企業講習、各種講習
- 事業拠点：福岡市中央区(本社、自動車教習所)
福岡市南区(自動車教習所)
- 取 引 店： 福岡銀行  本店営業部 092-723-2131



10, 15 新規建設 株式会社

新規建設

- 設 立：1974年9月
- 所 在 地：熊本市北区
- 資 本 金：10,000万円
- 従 業 員：70名
- 事業内容：木造住宅及びRC等建築物の設計・施工
- 事業拠点：熊本市北区(本社、住宅展示場)
熊本市東区、熊本県菊池郡菊陽町、八代市、荒尾市(住宅展示場)
福岡県久留米市、福岡市東区(住宅展示場)
- 取 引 店： 熊本ファミリー銀行  子飼橋支店 096-343-5151



16, 21 社会医療法人財団
白十字会

白十字会

- 創 業：1929年
- 設 立：1951年
- 所 在 地：長崎県佐世保市
- 従 業 員：2,640名
- 事業内容：病院、介護老人保健施設、
訪問看護ステーション、訪問介護ステーション、
通所介護事業所、介護付有料老人ホーム、小規模多機能施設
- 事業拠点：長崎県佐世保市、福岡県福岡市
- 取 引 店： 親和銀行  本店営業部 0956-24-5111

